

道、JRに代替バス要請へ

年末年始 減便で座席不足懸念

道は11日、JR北海道に対し、年末年始の混雑時に特急列車の座席が不足する事態に備え、代替輸送のバスを確保するよう求めていることを明らかにした。鉄道事業者にこうした要請をするのは異例だが、JR北でトラブルや不祥事が相次いでいる事態を踏まえ、関係機関を集めた対策会議を開いて要請する。

この日の道議会特別委員

会で、佐藤禎洋議員（自民党・道民会議）と梶谷大志議員（民主党・道民連合）の質問に答えた。道の担当者は一年末年始に安定的な輸送を実現するには、特急列車と同じ区間を走行するバスなどの代替輸送の確保が何よりも重要だ」と答弁した。

JR北によると、11月から始まった列車の減便・減速運転などの影響で、年末

年始には札幌と函館を結ぶ特急の座席数が前年比で4割減少するなどして、座席不足が予想されている。道は来週にも、JR北や北海道バス協会、北海道運輸局などと年末年始の輸送体制について協議する方針だ。特急の予約状況などを踏まえ、たうえで、JR北に代替バスの確保を求める。バス事業者に対しては、都市間バスの増便を要請する。